

# 令和2年度 第2回 磐田市多文化共生社会推進協議会 次第

日時：令和2年11月13日（金）

19：00～21：00

場所：磐田市役所 本庁舎4階  
大会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 報告事項

- (1) 第1回協議会の振り返り
- (2) 外国人市民向けアンケートの実施状況
- (3) 2020年度 磐田市はじめての日本語教室について
- (4) 駐日ブラジル大使訪問及び在浜松ブラジル総領事代理訪問について

## 4 協議事項（ワークショップ）

- (1) 外国人及び外国人支援者の高齢化による課題及び対応策検討
- (2) 外国人児童生徒への支援における、各機関の協力体制の強化
- (3) コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と、必要な支援の検討

## 5 閉 会

令和2年度 第1回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	令和2年7月30日（木）午後7時00分～9時00分
場 所	磐田市役所本庁舎4階 大会議室
出席委員	池上重弘会長、玉田文江委員、藤田允委員、川原利彦委員、平野利直委員、渡辺カルロス委員、青島彰委員、小沼裕樹委員、鈴木啓和委員、松尾真理委員、田中琢問委員
事務局	地域づくり応援課長、課長補佐、職員4人
オブザーバー	学校教育課（勝又） 多文化交流センター2名（杉田・山田）

[会議内容]

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 会長あいさつ
- 4 協議事項
  - (1) 令和2年度 磐田市多文化共生社会推進協議会について（資料1）
    - ・今年度の協議会の目的・進め方、協議会の日程、プランの概要の説明。
  - (2) 外国人人口状況について（資料2）
    - ・現状の統計資料の内容説明。
  - (3) 第3次多文化共生推進プランの実施状況について（資料3）
    - ・各課又は団体で実施した取り組み施策の結果報告。
  - (4) 意見交換
  - (5) 多文化共生推進プラン基礎調査（資料5）
    - ① 日本人市民向け
    - ② 外国人市民向け
      - ・今年度実施する市民意識調査についての説明、東南アジア圏の外国人向けの調査項目の検討
- 5 閉会

[会議概要摘録]

- 1 現状及び課題の整理
 

前年度までの議論等に基づく、磐田市の現状と課題

  - (1) 第1世代の高齢化と第2世代の台頭
    - ・1990年入国管理法施行により入国した第1世代は50代～60代になる。今後、介護等の高齢化問題が顕在化。

- ・第1世代の子どもにあたる第2世代が社会の中で活躍し始めている。
- ・第三世代にあたる子どももおり、彼らは日本語と母国語どちらの言語能力も曖昧な状態が見受けられるケースが多い。

## (2) 支援者の世代交代

- ・団体等で外国人の支援者として関わってきた世代が高齢化。  
既存の団体内で新しい世代へ役割を継承していく必要がある。
- ・今後、若い第二世代の外国人が活躍するために、協議会が橋渡しの場となるようにしたい。

## (3) 外国人生徒への支援

- ・地域、企業、学校、行政の協力体制を再検討する必要がある。

## 2 主な意見

### (1) 新設された在留資格による影響

平成27年以降に新設された在留資格により、ベトナム、インドネシア、タイ等の東南アジア圏の外国人が徐々に増加している。当面は「特定技能1号」による受け入れであり長期滞在が不可能なため定住志向は乏しい外国人であるため、今までと違った対応が必要である。

また、技能実習生として企業に勤めている場合が多く、受入企業の環境や実態を知るとともに、連携していく必要がある。

### (2) コロナ禍による影響

#### ① 不就学児童生徒増加の恐れ

外国人学校の経営困難や、外国人の雇止めの影響で、学費が払えない親の増加とそれに伴う編入学生徒の増加を予想していたが、編入生は少なかった。そのため、不就学児童生徒の増加が危惧される。実態を把握する必要がある。

#### ② 教育現場

学校現場では、現状コロナの影響は大きく受けていないが、外国人保護者の教育及び教育機関に対する考えに文化の差があることや、中学生段階で入国した日本語能力の乏しい生徒の対応については、今後対応を考える必要がある。

#### ③ 外国人の雇用

雇止めを受ける外国人が増えており、市内でも日中から出歩いている外国人も見受けられる。リーマンショック時との差として、帰国出来ない事が大きな違いとして挙げられる。適切な対応を検討する必要がある。

#### ④ 電子化及びオンライン化の需要拡大

日本語教室のオンライン教室開催、市役所情報発信ツールとしてFacebook 利用する中で、応募者数や閲覧者数の増加が見受けられた。

今後、情報発信媒体の電子化、イベント及び教室等のオンライン対応の検討の必要がある。

### 3 第4次多文化共生推進プラン策定に係る調査について

来年度策定に向けて、今年度9月に外国人市民意識調査を実施予定しており、調査対象を東南アジア圏の3国とするにあたり、調査内容について意見交換。今後の調査に基づき、具体的な課題研究と第4次プラン策定を進める。

### 4 今後検討すべき課題

- (1) コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と、必要な支援の検討
- (2) 外国人及び外国人支援者の高齢化による課題への対応策検討
- (3) 外国人児童生徒への支援における、各機関の協力体制の強化
- (4) 第4次プラン策定に向けた課題研究と対応策の検討

## 令和2年度 磐田市多文化共生推進プラン基礎調査

調査実施：磐田市役所 地域づくり応援課

調査へのご協力をお願い

### 1 調査目的

この調査は、磐田市における多文化共生の現状や課題、外国人住民の生活や意識等について調査し、磐田市の多文化共生推進プラン改定に向けて役立てること等を目的としています。

### 2 調査対象

本調査では、ベトナム・インドネシア・タイ国籍で、16歳以上の磐田市民を対象としています。

### 3 調査票について

この調査票は個人用です。ひとり1部お答えください。調査票は母国版とやさしい日本語版をお配りしています。内容はいずれも同じです。どちらか答えやすい方で回答してください。

### 4 プライバシー保護について

アンケート回答者のプライバシーを最大限に尊重します。アンケート結果は、統計的に分析されます（「女性で、この設問への回答者は1%」といった形式で結果は記述されます）ので、分析結果から回答者個人が特定されることはありません。ご回答いただいたアンケートは、磐田市において厳重に管理します。

### 5 調査に関する問い合わせ先

磐田市役所 地域づくり応援課 地域支援・青少年育成グループ

TEL：0538-37-4811 FAX：0538-32-2353

担当者：村井 智和、森 優也

月曜日～金曜日 8：30～17：15（※ 土日祝日を除く）

【記入にあたってのお願い】

- ① 回答方法に特に指示がない場合、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。
- ② 鉛筆または黒・青のペン・ボールペンで記入してください。
- ③ 記入終了後、もう一度、記入間違いや記入漏れがないかどうか確かめてください。
- ④ 回答に迷う場合は、あなたのお気持ちやお考えに出来るだけ近いものを選んでください。
- ⑤ 調査票にご記入の後、同封の返信用封筒に入れて、10月5日（月）までに返送してください。

※封筒に切手を貼る必要はありません。

**【1】あなた自身のことについて**

**問1:性別**

(1) 男性  (2) 女性

**回答合計 105 件、配布数 300 件 ⇒ 回答率 35%**

**問2:年齢**

(.....) 歳 ※ () 内に数字を記入してください。

16～19	20～30	31～40	41～50	51～60	61～65	65歳以上
0人	77人	20人	6人	2人	0人	0人

**問3:国籍**

(1) ベトナム  (2) インドネシア  (3) タイ

(4) 二重国籍 (.....と.....)  (5) その他 (.....)

※(4)、(5)の場合、() 内にあなたの国籍を記入してください。

**問4:在留資格**

(1) 技能実習生  (2) 家族滞在  (3) 留学

(4) 永住者  (5) 定住者  (6) 日本人の配偶者等

(7) 永住者の配偶者等  (8) その他の在留資格 (翻訳中)

※(8)の場合、() 内にあなたの在留資格を記入してください。

**問5:初来日年**

(1) (.....)年 ※ () 内に数字を記入してください。 (2) 日本生まれ

1996～2000年	2000～2005年	2006～2010年	2011～2015年	2016年以後	日本生まれ
2件	2件	6件	9件	91件	0件

**問6:磐田市での通算滞在年数** ※月単位は切り捨てる。

(.....)年 ※ () 内に数字を記入してください。

15年以上	10年以上	5年以上	2年以上	2年未満
1件	1件	7件	26件	70件

**問7:今後の具体的な滞在予定年数及び予定**

(1) (.....)年 ※ () 内に数字を記入してください。 (2) 永住資格取得予定

3年未満	3年以上	5年以上	10年以上	永住
55	13	8	5	17

## 【2】日本語の能力

### 問8:日本語での会話能力

- (1) 日本語での会話は全く出来ない 1人
- (2) 名前や出身地等、簡単な自己紹介が出来る 53人
- (3) 買い物をするとき、自分の希望や条件を詳しく説明出来る 36人
- (4) 市役所や病院で通訳無しでも問題無く意思疎通が出来る 12人

### 問9:日本語を読む力

- (1) 日本語は全く読めない 5人
- (2) カタカナやひらがなで書かれた、国名や都市名を読むことが出来る 57人
- (3) カタカナやひらがな付きであれば市役所や学校からの通知を読んで理解出来る 29人
- (4) カタカナやひらがな無しで市役所や学校からの通知を読んで理解出来る 11人

### 問10:日本語を書く力

- (1) 日本語は全く書けない 3人
- (2) 自分の名前をカタカナで書くことが出来る 40人
- (3) 仕事の伝言メモを、カタカナやひらがなで書くことが出来る 54人
- (4) 仕事の伝言メモを、漢字を含めて書くことが出来る 8人

### 問11:今後の日本語学習希望

- (1) ぜひ学習したい 39人 ⇒ ※次の問11-①へ進む
- (2) 自分の都合にあう機会であれば学習したい 41人 ⇒ ※次の問11-①へ進む
- (3) すでに学習しているのもう十分 7人 ⇒ ※次の問11-②へ進む
- (4) 日本語は出来ないが、学ぶ必要を感じない 13人

### 問11-①:日本語学習への希望

・時間帯 ※ () 内の該当するものに、それぞれ1つずつ○を付けて下さい。

( 平日 2人 ・ 土日、祝日 75人 ) / ( 午前 20人 ・ 午後 22人 ・ 夜 21人 )

・方法 ※ () 内の該当するものに、それぞれ1つずつ○を付けて下さい。

( 対面 38人 ・ オンライン 21人 ) / ( グループ 43人 ・ 個別 15人 )

**問 11-②:日本語学習経験について**

- (1) 学習経験がある  (2) 学習経験がない

※(1)と答えた方は、どこで学習したか次のいずれかを選択してください。

- (1) 母国  (2) 日本の学校   
(3) 日本で勤務した会社  (会社名: 翻訳及び集計中)  
(4) 日本のボランティア  (団体名: 対象無し)  
(5) その他  (翻訳及び集計中)

※(3)、(4)、(5)の場合、() 内に企業・団体名等を記入してください。

**問 12:主に利用する言語**

- (1) ベトナム語  (2) インドネシア語  (3) タイ語   
(4) 英語  (5) その他(対象なし)

※(5)の場合は () 内にあてはまる言語を記入してください。

※主に利用する言語の他、会話レベルで扱える言語がある場合、次のいずれかを選択してください。

- (1) 日本語  (2) 英語  (3) その他  (翻訳及び集計中)

※(3)の場合 () 内にあてはまる言語を記載してください。

**【3】社会との関わり**

**問 13:生活に関する情報の入手方法** ※複数選択可

- (1) 母国語のラジオ・テレビ  (2) 母国語の新聞・雑誌   
(3) 日本語のラジオ・テレビ  (4) 日本語の新聞   
(5) 日本人の友人からの情報  (6) 同国籍の友人からの情報   
(7) 会社からの情報  (8) 市役所の広報誌   
(9) 市役所のHP  (10) 市外の日本の官公庁の外国語HP   
(11) いわたホットライン  (12) その他  (翻訳及び集計中)

※(12)の場合 () 内にあてはまる方法を記入してください。

**問 14:災害情報の入手方法**

- (1) ①と同一  (2) 異なる方法  (翻訳及び集計中)

※(2)の場合 () 内にあてはまる方法を記載してください。

**問 15:今後、言語対応を希望する情報発信ツール** ※選択肢から2つ選んで○をつけてください。

- (1) 市HP  (2) Facebook  (3) Twitter   
(4) いわたホットライン  (5) 広報いわた



## 【4】日本での生活

### 問 16:現在の住まい

- (1) 会社の社宅や会社契約のアパート  (2) 自分で契約した民間のアパート   
(3) 公営住宅  (4) 持ち家 (マンション含む)   
(5) その他  (翻訳及び集計中)

※(5)の場合 () 内にあなたの住まいを記入してください。

### 問 17:自治会加入状況

- (1) 加入している  (2) 加入していない

※(2)の場合、問 17-①へ進む。

### 問 17-①:自治会に加入しない理由 ※複数回答可

- (1) 自治会を知らない  (2) 加入の必要を感じない   
(3) 言葉が分からない  (4) 会費が高額であるから   
(5) すぐに引っ越すから  (6) 加入方法が分からない   
(7) その他  (翻訳及び集計中)

※(7)の場合 () 内に理由を記載してください。

### 問 18:日本人との関わりについて (過去経験含) ※複数回答可

- (1) 会社で一緒に働いている  (2) 学校で一緒に勉強している   
(3) 友人として付き合っている   
(4) 自分または親戚が結婚して日本に住んでいる   
(5) 外国人支援団体やNPO、国際交流グループ等で一緒に活動している   
(6) その他のグループで地域活動に参加している   
(7) 挨拶程度の付き合い   
(8) 日本人に知り合いはおらず、付き合いもない

### 問 19:地域で暮らす日本人への親しみ

- (1) とてもよく感じる  (2) どちらかといえば感じる   
(3) どちらかといえば感じない  (4) まったく感じない

**問 20:外国人が、日本人との相互理解を深めるために必要なこと**

※A～Fについて、それぞれあてはまる番号に1つ○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
A. 日本語を身に付ける	(82人)	(14人)	(4人)	(0人)
B. 日本の文化を知る	(69人)	(25人)	(6人)	(0人)
C. 地域のルールや習慣を学ぶ	(67人)	(29人)	(3人)	(0人)
D. 地域活動へ積極的に参加する	(56人)	(27人)	(17人)	(4人)
E. 自治会に加入する	(37人)	(32人)	(20人)	(9人)
F. 自国の文化を紹介する	(58人)	(23人)	(10人)	(3人)

**問 21:日本人が、外国人との相互理解を深めるために必要なこと**

※A～Fについて、それぞれあてはまる番号に1つ○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
A. 日常的に挨拶をする	(80人)	(19人)	(1人)	(1人)
B. 差別意識を持たない	(85人)	(9人)	(6人)	(0人)
C. 文化や生活習慣の違いを知る	(74人)	(23人)	(1人)	(0人)
D. 地域活動へ参加を呼び掛ける	(50人)	(31人)	(15人)	(2人)
E. 地域のルールを伝える	(62人)	(28人)	(7人)	(2人)
F. 日本語を教える	(69人)	(19人)	(8人)	(2人)

**問 22:日本での暮らしで悩み事や、ストレスを感じる事柄 ※複数回答可**

- (1) 勤務問題 30人 (転勤、職場環境、仕事の不振など)
- (2) 健康問題 32人 (自分の病気の悩み、身体の悩みなど)
- (3) 経済問題 21人 (倒産、借金、失業など)
- (4) 地域問題 28人 (ごみ捨て、自治会の人間関係、言語・文化の違い)
- (5) 学校問題 1人 (いじめ、学業不振、教師との関係)
- (6) その他 21人 (翻訳及び集計中)

※(6)の場合 ( ) 内に悩み、ストレスを感じる事柄を記載してください。

・具体的に困っていることや、行政に望むことがあれば、次の空欄に自由に記載してください。

翻訳及び集計中

**問 23:行政からの援助を受けているか、どんな援助を受けているか** ※コロナ禍以前の状況について

- (1) 受けていない  (2) 受けている  (翻訳及び集計中)

※(2)の場合 ( ) 内に具体的に受けている援助を記載してください。

**問 24: コロナの影響により、行政からの援助を受けているか、どんな援助を受けているか**

- (1) 受けていない  (2) 受けている  (翻訳及び集計中)

※(2)の場合 ( ) 内に具体的に受けている援助を記載してください。

## 【5】災害への備え

**問 25:災害に備えて準備していること** ※複数回答可

- (1) 避難所の確認  (2) 家族や知人との連絡方法   
(3) 家具の固定  (4) 非常食や飲料水の準備   
(5) 携帯ラジオや懐中電灯等の準備  (6) 特にしていない

**問 26:災害時に最も心配なこと**

- (1) 日本の家族や知人との安否確認ができるか   
(2) 避難所で日本人と一緒に生活できるか   
(3) 自分の言語で必要な情報を入手できるか   
(4) 母国の家族や友人と連絡が取れるか   
(5) その他  (翻訳及び集計中)

※(5)の場合 ( ) 内に具体的な心配について記載してください。

**問 27:地域の防災訓練への参加経験の有無**

- (1) ある  (2) ない  (理由: 翻訳及び集計中)

※(2)の場合 ( ) 内に具体的な理由を記載してください。

## 【6】現在の仕事

**問 28:現在、収入をとまなう仕事をしているか**

- (1) はい (学生のアパート含む)  (2) いいえ

※いいえの場合、問 31 に進む

**問 29:仕事の形態について**

- (1) 技能実習生  (2) 派遣会社を通して勤務  (3) 自営業   
(4) 期間を定めない正規社員  (5) 期間を定めた契約社員  
(6) パート・アルバイト  (7) その他  (翻訳及び集計中)

※(7)の場合 ( ) 内に具体的な仕事の形態を記載してください。

**問 30:現在の仕事について、どのように情報を得たか**

- (1) 母国で技能実習制度に応募して   
(2) 母国語で書かれた新聞や雑誌を見て   
(3) 家族や親せきを通じて  (4) 同国人の知人の紹介   
(5) 日本人の知人の紹介  (6) ハローワーク   
(7) その他  (翻訳及び集計中)

※(7)の場合 () 内に具体的な手段について記載してください。

**問 31:新型コロナウイルス感染症による影響**

- (1) 賃金が低下した  (2) 失業した   
(3) 特に影響を受けなかった

※(1)または(2)と答えた方は、生活への影響について次のいずれかから選択してください。

- (1) 生活に影響は無い  (2) 日々の節約等が必要になった   
(3) 副業を行う、預貯金を切り崩す等をして生活している   
(4) 借金等をして生活している、自らの収入で暮らせない

**問 32:現在の仕事の内容**

- (1) 生産工程 (製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者)   
(2) 販売・サービス (店主、店員、接客など)   
(3) 事務的職業 (事務員、銀行員など)   
(4) 専門職・管理職 (エンジニア、看護師、教員、通訳、管理職など)   
(5) 介護職   
(6) その他 (翻訳及び集計中)

※(6)の場合 () 内に現在の仕事内容について記載してください。

**問 33:現在勤務している企業名** ※差支え無ければ構いません。

(企業名: 翻訳及び集計中) ※ () 内に企業名を記載してください。

**【7】一緒に住んでいる人**

**問 34:同居人数**

あなたを含めて (.....) 人 ※ () 内に数字を記載してください。

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	それ以上
18	24	18	14	9	2	1	0	12

※ 1人の場合は、以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

問 35:一緒に住んでいる人との関係について教えてください

- (1) 配偶者       (2) 子ども 0人      (3) 兄弟 0人  
(4) 親       (5) 孫 0人      (6) 配偶者の親 0人  
(7) 配偶者の兄弟       (8) その他の親族 4人  
(9) 非親族（友人、知人、同僚等）

## 第4次磐田市多文化共生推進プラン策定計画

年度 (4月始まり)	委員任期 (2年)	協議会の進捗 (計画)	
2019年度	2019年7月15日	2019年7月	協議会 (年間3回実施)
	2019年7月16日	2019年12月	
		2020年2月	
2020年度	A	2020年7月	第1回協議会
		2020年9月～11月	市民意識調査
		2020年12月	第2回協議会
		2021年2月	第3回協議会
2021年度	B	2021年7月	第1回協議会
		2021年9月	第2回協議会
		2021年11月	第3回協議会
		2021年12月	第4回協議会
		2022年1月～2月	意見募集 (パブリックコメント)
2022年度		2022年3月	第5回協議会 第4次 磐田市多文化共生推進プラン (2022～2026年度) 策定
		2022年4月	第4次 磐田市 多文化共生推進プラン (2022～2026年度) スタート
2023年度	2023年7月15日		

(静岡県地域日本語教育体制構築事業)

## 令和2年度「モデル日本語教室」の設置・運営事業

## 1 概要

静岡県は令和2年2月、文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、県内に住む外国人が生活に必要な日本語能力を習得する体制を構築するための「静岡県地域日本語教育推進方針」をまとめた。

方針に基づき事業を展開していく上で、本年度は、磐田市と菊川市の両市がモデル市町として選定された。本年度から5年間、毎年度、2市町程度を選定していく。

## 2 目的

磐田国際交流協会主催の日本語教室ではカバーしきれなかった、日本語初心者レベル（最低限のコミュニケーションも日本語で行うことが困難な日本語レベル）の外国人を対象に、支援者として地域住民が関わり、相互理解を深めることで、地域における多文化共生社会の形成を促進することを目標とし、対話交流型の「生活者としての外国人のための初期日本語教室」を開催する。

## 3 モデル日本語教室の実施計画

磐田市 「2020年度 磐田市 はじめての日本語教室」(教室型) オンライン併用型

地域日本語教育コーディネーター： 1人 (磐田国際交流協会へ協力依頼)

日本語指導者： 1人 (磐田国際交流協会へ協力依頼)

指導補助者： 2人 (磐田国際交流協会へ協力依頼)

母語支援員： 2人 (ポルトガル語1人、タガログ語1人)

テスター： 4人 (磐田国際交流協会へ協力依頼)

アドバイザー： 1人 (静岡県国際交流協会へ協力依頼)

学習支援者： 10人 (南御厨地域づくり協議会へ協力依頼)

区分	概要
実施時期	令和2年10月25日(日)～令和3年2月14日(日)
実施場所	南御厨交流センター(磐田市東新屋613)
実施回数・実施曜日・時間	全12回(日曜日) 午後2時間(14:00～16:00を想定)
受講者見込数	20人(オンラインを含む)
受講者国籍・在留資格	ブラジル人、フィリピン人の定住者
受講者の募集方法	外国人情報窓口からのフェイスブック、ポルトガル語広報いわた等
内容	第1回：オリエンテーション、レベルチェック 第2回～第11回：生活に必要な日本語 第12回：ふりかえり、レベルチェック

# ねんど いわたし にほんごきょうしつ 2020年度 磐田市 はじめての日本語教室

にほんごさぽーたーとこうりゅう べんきょう つうやく  
日本語サポーターと交流しながら、勉強します。(通訳あり)

さんかほうほう まいかい もう こ  
参加方法：毎回、申し込んでください。8人までです。

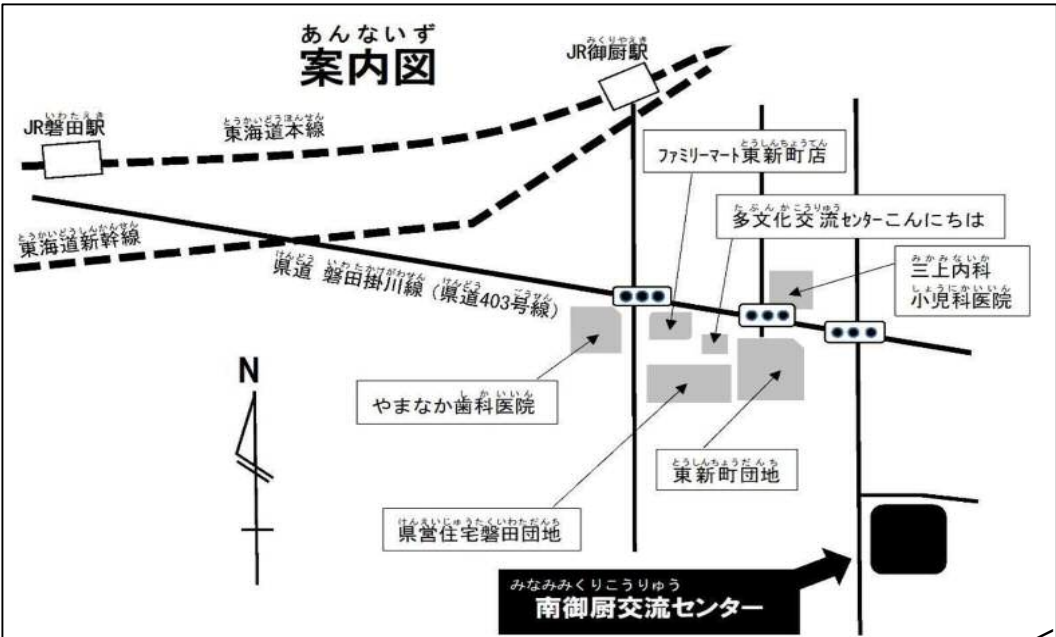
もちもの えんぴつ、ノート、マスク



えん  
授業料 0円!!  
受講者 募集中!

2020.10 October							2020.11 November							2020.12 December							2021.1 January							2021.2 February							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
				1	2	3	①	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2			1	2	3	4	5	6
4	5	6	7	8	9	10	⑧	9	10	11	12	13	14	⑥	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	⑦	8	9	10	11	12	13	
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	⑬	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	⑭	15	16	17	18	19	20	
18	19	20	21	22	23	24	⑳	23	24	25	26	27	28	⑳	21	22	23	24	25	26	⑰	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
⑳	26	27	28	29	30		㉑	30						27	28	29	30	31		㉒	25	26	27	28	29	30	28								

Googleマップで「南御厨交流センター」と調べると、  
通って行く道がわかるよ(‘ω’)ノ



日時 日曜日 午後2:00~午後4:00 (○印の日)

場所 南御厨交流センター (磐田市東新屋613)

対象 16歳以上の外国人のみ  
※日本語がほとんどわからない人を優先  
※はじめて来た時にレベルをチェックします

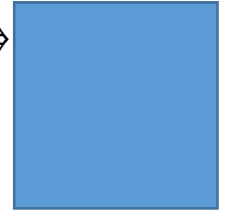
授業料 0円 (全12回)

申込方法 QRコードを読んで、必要な内容を入力して送信  
※名前、住所、電話番号など == =>

【問合せ先】  
磐田市役所 地域づくり応援課 (磐田市国府台3-1)

TEL : 0538-37-4811 FAX : 0538-32-2353

E-mail : chiiki-ohen@city.iwata.lg.jp



QRコード



## Iwata-shi “Hajimete no Nihongo Kyōshitsu” do ano fiscal 2020

Vamos estudar interagindo com os orientadores de língua japonesa. (Haverá intérprete)

Como participar : Fazer a inscrição todas as vezes.

8 pessoas por vez.

Levar : Lápis, caderno e máscara

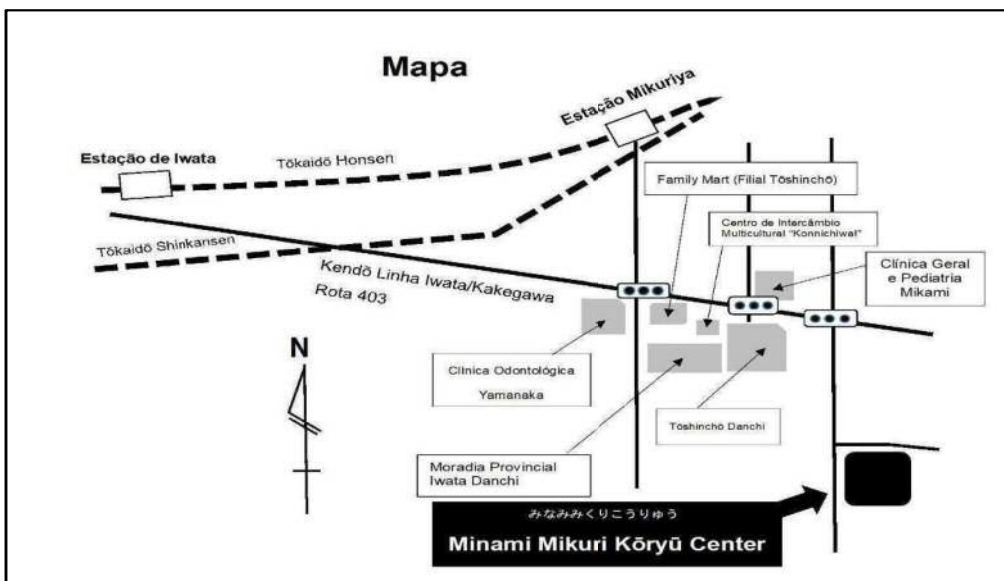


ポルトガル語版

Taxa **0 ien!!**  
Recrutando alunos!

2020.10 October							2020.11 November							2020.12 December							2021.1 January							2021.2 February												
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT						
				1	2	3	①	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5			1	2					1	2	3	4	5	6							
4	5	6	7	8	9	10	⑧	9	10	11	12	13	14	⑥	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	⑦	8	9	10	11	12	13						
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	⑬	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	⑭	15	16	17	18	19	20						
18	19	20	21	22	23	24	⑳	23	24	25	26	27	28	⑳	21	22	23	24	25	26	⑰	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27						
⑳	26	27	28	29	30	㉑	30	27	28	29	30	31	㉒	25	26	27	28	29	30	㉓	25	26	27	28	29	30	28													

Verifique a rota até o curso pesquisando “Minami Mikuri Kōryū Center” no Google Map ( ‘ω’ )



- **Dia e horário** Domingos, das 14:00 às 16:00 (dias circulados no calendário)
- **Local** **Minami Mikuri Kōryū Center** (Iwata-shi Higashi Araya 613)
- **Público Alvo** Estrangeiros de 16 anos ou mais
  - ※ Preferência para pessoas com pouco conhecimento da língua.
  - ※ Será avaliado o nível de conhecimento na 1ª aula.
- **Taxa** Gratuita (0 ien) (Total de 12 vezes)
- **Inscrições** Faça a leitura do código de barras bidimensional, insira os dados necessários e envie.

※ **Nome, endereço, telefone, etc. = = =>**

### 【Informações】

Iwata Shiyakusho Chiikizukuri Ōen-ka  
(Iwata-shi Kōnodai 3-1)

TEL : 0538-37-4811 FAX : 0538-32-2353



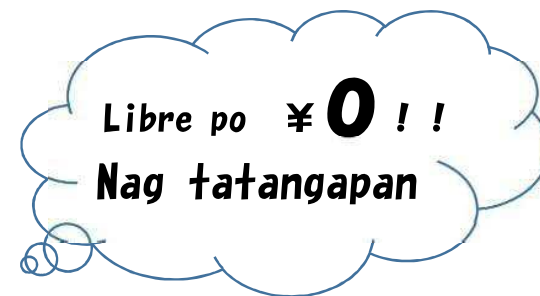
Código QR

Taon 2020 Iwatashi magsisimula ang Klase ng Nihonggo. Panlipunan: pagtitipon

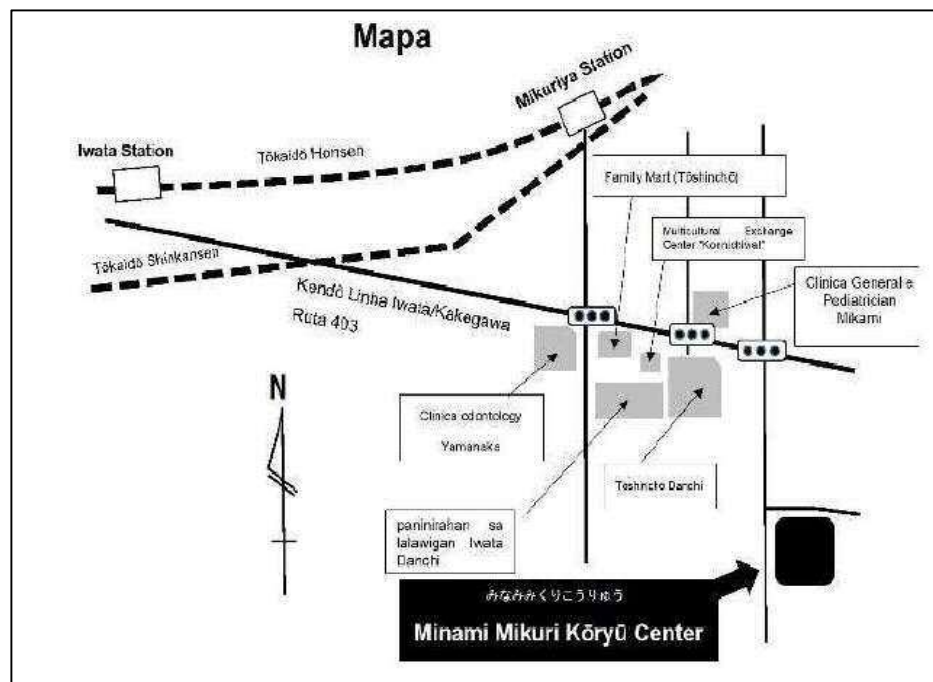
habang nagaaral ng nihongo. meron po tayung interpreter.

Partisipasyon: palagi po tayung mag aplay.

Magdala: Lapis notebook at mask.



2020.10 October							2020.11 November							2020.12 December							2021.1 January							2021.2 February							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
				1	2	3	①	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2			1	2	3	4	5	6
4	5	6	7	8	9	10	⑧	9	10	11	12	13	14	⑥	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	⑦	8	9	10	11	12	13	
11	12	13	14	15	16	17	⑮	16	17	18	19	20	21	⑬	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	⑭	15	16	17	18	19	20	
18	19	20	21	22	23	24	⑳	23	24	25	26	27	28	⑳	21	22	23	24	25	26	⑰	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
⑳	26	27	28	29	30		㉑	30						27	28	29	30	31		㉒	25	26	27	28	29	30	28								



- Linggo: Oras 2:00 ng hapo
- Lugar: Iwata shi higashi Araya 613.
- Patunkol: Prayoridad para sa edad na 16 para sa mga banyaga.  
 ※Prayorida din sa mga hindi marunong mag nihongo  
 ※kukumpirmahin muna kung hanggang saan ang alam sa nihonggo.
- Matrikula: Libre poi to
- Applikasyon: Paki iskan lamang po ang QR code lalabas ang mga detalye.  
 ※pangalan, tirahan, telepono.



**[Information]**

Iwata Shiyakusho Chiikizukuri Ōen-ka  
 (Iwata-shi Kōnodai 3-1)

TEL : 0538-37-4811 FAX : 0538-32-2353

E-mail : chiiki-ohen@city.iwata.lg.jp

## 在浜松ブラジル総領事代理訪問について

### 1 総領事代理訪問の目的

地震、津波被害が危惧される静岡県で、領事館も危機管理の一環として、ブラジル市民の防災のためのネットワーク構築に取り組みたいと考えています。

今回は、ブラジル人の多い都市を訪問し、外国人の様々な課題に対応し多文化共生を担当されている課と連携を図り、外国人に対する防災に関する取組みや方針、問題点などについてざっくばらんに意見交換をするため。

### 2 訪問日程及び出席者について

- (1) 日 時：令和2年9月10日（木） 午前11時から正午
- (2) 会 場：磐田市役所 本庁舎3階 応接室
- (3) 出席者：（磐田市）地域づくり応援課長、課長補佐、防災担当者、通訳者  
（総領事館）総領事代理

### 3 議題

- (1) 外国人に対する防災啓発の取組み
- (2) 令和元年度防災訓練の参加状況について
- (3) 市、総領事館の連携について

### 4 概要

- (1) 外国人に対する防災啓発の取組み
  - ①自治会への情報提供
  - ②ポルトガル語版いわたホットラインでの避難情報の発信
  - ③企業への地震体験車・防災訓練参加依頼
  - ④磐田国際交流協会との講座による連携
- (2) 令和元年度防災訓練の参加状況について
  - ①9月、12月参加状況（全体参加者、外国人参加者）
  - ②磐田市外国人人口推移
- (3) 市、総領事館の連携について
  - ①相互に、各HPへ、相手方のHPのリンクを張り付けることで、情報連携を図る

## 報 告 書

年月日	令和元年 11 月 19 日（火） 11：00～12：00
場 所	在浜松ブラジル総領事館 （浜松市中区元城町 115-10 元城町共同ビル 5 階）
用 件	総領事への面談
参 加 者	総領事：フーバル エルネスト 総領事秘書：鍵山 三加子 地域づくり応援課：磯部課長、宮本補佐、藤田 浜松いわた信用金庫：相川アンジェラ

## 1. 総領事からの質問と回答

Q 多文化共生推進プランの策定はいつ頃に行われたか。

A 第1次プランの策定は2007年（平成19年）3月、  
第2次プランの策定は2012年（平成24年）3月、  
第3次プランは2017年（平成29年）3月に策定され、対象期間は2021年（令和3年度）まで。

Q 第1・2次プランから第3次プランで見直した点は。

A 外国人の長期定住化・永住化が進行したことで、新たに3つの柱、18の具体的な施策を設けた。

Q 磐田市に国際交流協会はあるか。また、どのような活動をしているか。

A 磐田国際交流協会がある。日本語教室の実施、文化交流事業の「インターナショナルフェア」の開催、教育委員会からの委託で「外国人児童生徒学習支援事業」などを行っている。

Q 教育問題を憂慮。外国人児童への教育支援は行われているか。

A 参考1「磐田市外国人児童生徒への支援体制」のとおり。

Q ブラジル人と自治会との関係は。浜松市では高丘自治会が、ブラジル人との共生に積極的である。

A 企業の働きかけによる外国人従業員の地域防災訓練への参加や、自治会主催で開催した外国人と日本人住民の交流会など、地域で共生活動が生まれている。（資料 P17～19）

また、外国人情報窓口では外国人転入者に「自治会」について説明し、加入を促している。

Q 自治会への加入状況は。

A 具体的な数字は把握していない。

## 2. 総領事からの意見または依頼内容

- ・磐田国際交流協会と連絡をとりたい。総領事館への訪問を打診してほしい。浜松国際交流協会と総領事館は、良いパートナーシップを組んでいる。
- ・外国人児童生徒への支援体制の具体的な内容を知りたい。
- ・ブラジル人は地域活動を行う文化的な背景がないので、地域活動へ参加させるためには、国民性を理解したうえでの取り組みが必要。
- ・ブラジル人の高齢化問題を大変憂慮。60歳以上の方も多。
- ・ブラジル人は、派遣会社を通じて来日するケースが多く、健康保険等について情報を得る機会がないため、無保険者が多。外国人情報窓口において、健康保険等の必要性を伝え、加入を促して欲しい。
- ・総領事館では来年度初めに、浜松市、名古屋市の主な派遣企業を対象にブラジル人の高齢化問題と保険加入の促進について、話し合いの場を用意する予定。
- ・磐田市においても高齢化問題、無保険問題について調査、研究をしてほしい。
- ・総領事館の役割も、訪日ブラジル人の長期定住化に合わせて変化。商工会議所と協働して起業の援助を行っている。
- ・総領事館では磐田市と課題を共有し、協働で問題の解決に取り組んでいきたいと考えている。
- ・可能であれば、外国人情報窓口で領事館の活動を紹介してほしい。

# 駐日ブラジル大使訪問について

## 1 大使訪問の目的

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済政策の給付金等について、ブラジル出身の労働者を含め対応したこと、また、本市の広報紙のポルトガル語版やホームページで多言語での情報発信したことに対しての、感謝の言葉と記念トロフィを受け渡すこと。

その後、歓談しながら、ブラジルコミュニティのコロナ禍での状況について、意見交換すること。

## 2 訪問日程及び出席者について

- (1) 日 時：令和2年10月28日（水） 午後4時から午後4時30分
- (2) 会 場：磐田市役所 本庁舎3階 公室
- (3) 出席者：（磐田市）市長、教育長、地域づくり応援課課長補佐、通訳者  
（大使館）駐日ブラジル大使、在浜松ブラジル総領事、参事官、総領事秘書

## 3 当日次第

- (1) 市長歓迎あいさつ
- (2) ブラジル大使あいさつ
- (3) 記念品交換（ブラジル：トロフィー、磐田市：しっぺいグッズ・いわた茶）
- (4) 記念撮影（ここで報道陣退席）
- (5) 歓談

## 4 歓談概要

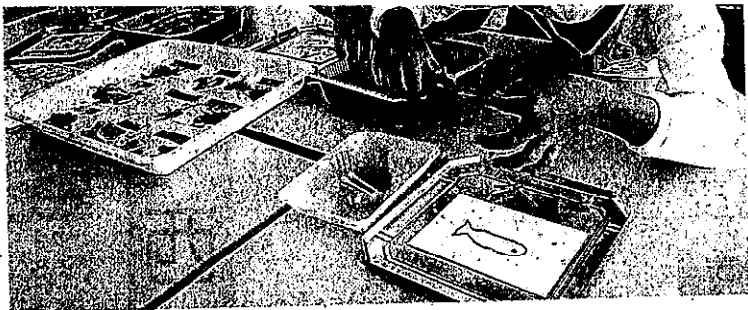
- (1) 大使からの言葉
  - ① 日本政府の発信する情報を、SNS や各ブラジル総領事館市民協議会等のネットワークを通して、いち早くブラジル人コミュニティに届けるよう努めている。
  - ② 在日ブラジル人コミュニティが、各縣市町村の指示に従うよう尽力していること。
- (2) ブラジル人コミュニティの各分野の意見交換
  - ①本市の多文化共生の取組みについて、ポルトガル語資料を提供
  - ②教育分野についての問答
- (3) 市内での新型コロナ感染者数等について
  - ①感染者数11名、県非公開のため国籍は不明
  - ②在日ブラジル人の市民から、感謝のお手紙をいただいたことを報告



# 報告事項(4)

## 押し葉づくり

倉の4年生約40人が28日、同校で海藻を使った押し葉ついで自然資源の大切さを学んだ。



### 浜岡東小4年生 自然資源の大切さ学ぶ

「海藻おしほ協会」の野田三千代会長(伊豆市)が講師を務めた。野田会長は海藻を「海の森」と表現し、「二酸化炭素(CO2)を吸収したり、海水の汚れを受け止めたりする働きがある」と説明した。押し葉づくりの材料は御前崎などの浜辺に漂着したユカリやタマイタタキ、アカモクなど約10種類の海藻。児童は水で湿らせたはがきに海藻をつまようじで貼り、似顔絵や魚の絵を描いた。岡村楓菜さん(9)は「海藻はめめめめしたりぐつついたりして面白かった。魚のすみかを守るために大事なものと分かった」と話した。(御前崎支局・木村栞太)

### 習支援の「パテ・パポ」 活動表彰で市長賞

表作のやさしい環境への一歩。鈴木市長は、御前崎市の「パテ・パポ」の活動を表彰し、市長賞を授けられた。



### 警田市訪問

### サボイア駐日ブラジル大使 コロナ禍での支援感謝



サボイア駐日ブラジル大使(右)に記念品を贈る渡部市長(左)。警田市のサボイア大使(右)が28日、警田市の渡部修市長を訪ね、コロナ禍での市内のブラジル人居住者への給付金交付や情報発信などの生活支援の取り組みに感謝した。市内の居住者は約5千人。サボイア大使は「警田市には温かい支援をいただいている。子供たちの両親が仕事

サボイア駐日ブラジル大使(右)に記念品を贈る渡部市長(左)。警田市のサボイア大使(右)が28日、警田市の渡部修市長を訪ね、コロナ禍での市内のブラジル人居住者への給付金交付や情報発信などの生活支援の取り組みに感謝した。市内の居住者は約5千人。サボイア大使は「警田市には温かい支援をいただいている。子供たちの両親が仕事

エドゥアルド・サボイア駐日ブラジル大使が28日、警田市の渡部修市長を訪ね、コロナ禍での市内のブラジル人居住者への給付金交付や情報発信などの生活支援の取り組みに感謝した。市内の居住者は約5千人。サボイア大使は「警田市には温かい支援をいただいている。子供たちの両親が仕事

紹介、イメージキャラクタ「しっぺい」のぬいぐるみなどの記念品を贈った。ブラジル側からは感謝や友好のしるしの盾を受け取った。

1月に中学校別に2部制で成人式 湖西市、コロナ対策で 湖西市は28日まで、来年1月10日に開催予定の市成人式について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出身中学校別に時間を分けて2部制で実施すると発表した。会場は例年と同じ市アメニティプラザ。例年2時間ほどのプログラムだが、今回は余興を省き、式典のみで行われ、式典のみの時間は30分ほどに短縮する。1部は午後0時半開始で新居、湖西、白須賀中、2部は午後3時開始で鷺津、岡崎中の出身者が対象。会場には保護者は入場不可。来賓も市長のみに限る。入場時に参加者の検温やマスク着用、手洗いや消毒を行う。授業料など助成へ 袋井市が市内在住留學生対象に支援 袋井市は28日、同市在住の留學生に授業料などを助成すると発表した。新型コロナウイルスの影響で生活が困窮する留學生が多く、授業支援の一環として始める。市内滞在の留學生は約160人。コロナ禍から授業料や教材費などの負担が大きくなっている。学校から市に相談が寄せられていた。市が6月に実施した調査によると、77%の学生の収入が新型コロナウイルス感染症拡大の影響が広がる前の今年1月の月比で3割以下になっている。助成対象は同市に住む児童があるなど4項目の基準を満たした留學生。学校の収入の減額などを算定して申請し、1人当たり2万円を基本額として最高12万円交付する。同日の定例記者会見で原田英之市長は「はるばる袋井へ学びに来ている。大変だと思いが、授業を続ける助けになれば」と話した。申請期限は12月28日。問い合わせは市国際課へ電0538(44)3158へ。

万葉歌高らかに 児童が成果披露 浜北区の公園 浜松市浜北区の万葉の森公園の休憩所「伎倍の茶屋」が主催する



市浜北区の万葉の森公園

新型コロナウイルス感染症<電話相談窓口> 市役所の電話相談窓口

## 4 協議事項 ワークショップ（流れ）

- 1 3つのテーマについて、現状を踏まえ委員が思う自由な意見を出していただき、情報の共有をします。

※1つのテーマにつき、意見交換を行う時間は、20分です。

- テーマ1 『外国人及び外国人支援者の高齢化』
- テーマ2 『外国人児童生徒への支援における  
各機関の協力体制化』
- テーマ3 『コロナ禍における  
国人住民の生活実態の把握と必要な支援』

- 2 3グループに分かれて、各テーマを20分でローテーションして合計3回の意見交換をします。（グループ分けは2ページ目のとおり）

- 3 1回目から3回目まで、各回に書記が内容をまとめます。  
2回目は、前回グループの意見を参考に議論をします。  
3回目は、1回目、2回目の結果を基に結論をまとめていきます。  
※ローテーション毎に、書記作成資料をお渡しし、前回の意見交換内容をファシリテーターが皆様にお伝えします。

- 4 ファシリテーター役の職員が意見をまとめ発表（各テーマ5分）

- 5 総括（10分）



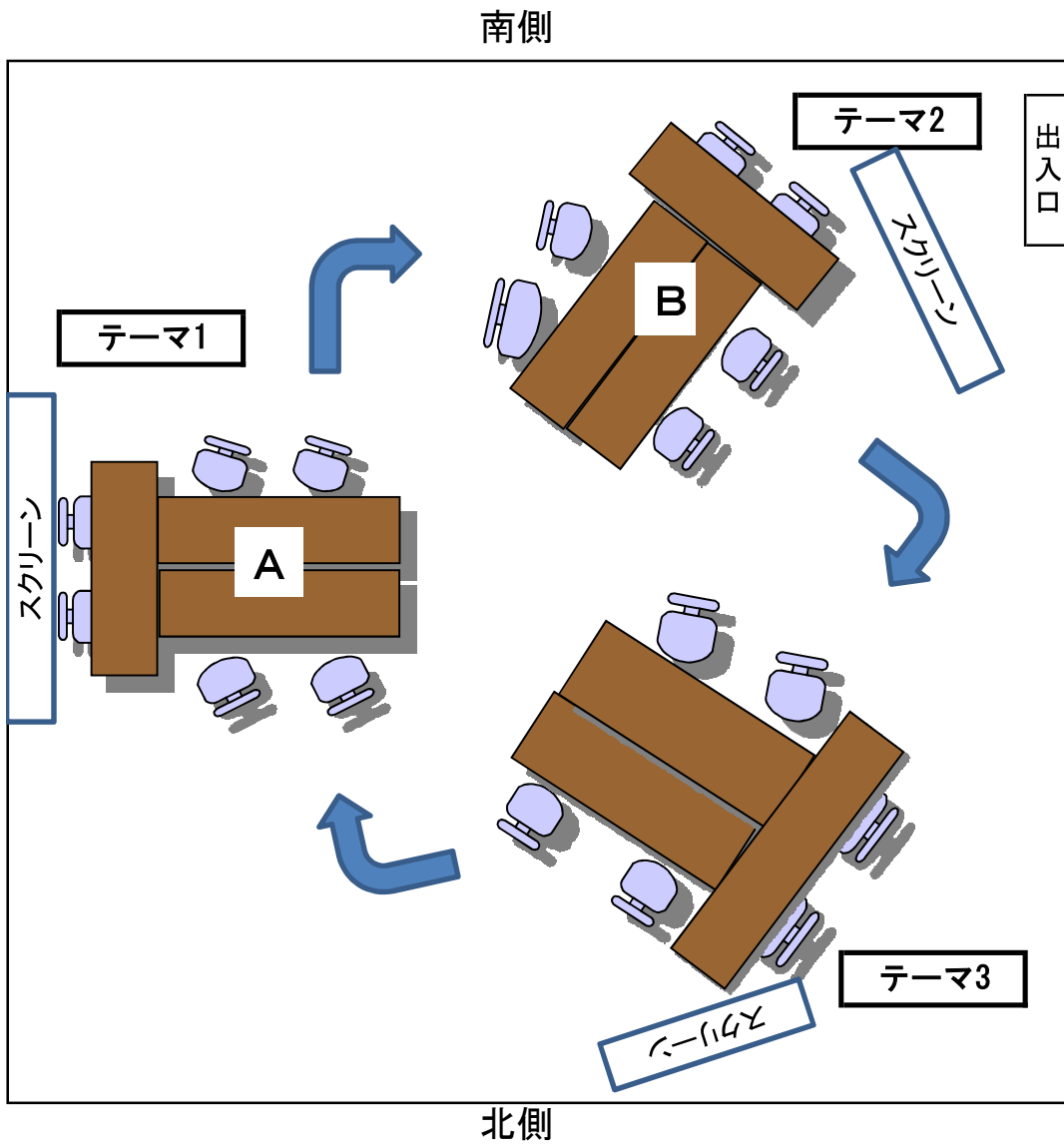
# ワークショップグループ分け

## 参考資料－2

	氏名	かな	所属等	グループ	1回目のテーマ
1	玉田 文江	たまだ ふみえ	自治会連合会	C	(3)
2	藤田 允	ふじた まこと	自治会連合会	B	(2)
3	川原 利彦	かわはら としひこ	磐田国際交流協会	A	(1)
4	渡邊 カルロス	わたなべ かるろす	(株)ORJ	欠	欠
5	平野 利直	ひらの としなお	平野ビニール工業(株)	C	(3)
6	相川 アンジェラ	あいかわ あんじえら	浜松磐田信用金庫	A	(1)
7	山田 クリスティナ	やまだ くりすていな	在住外国人(フィリピン)	A	(1)
8	田中 琢間	たなか たくもん	在住外国人(ブラジル)	C	(3)
9	青島 彰	あおしま あきら	東部小学校	B	(2)
10	小沼 裕樹	こぬま ひろき	神明中学校	B	(2)
11	鈴木 啓和	すずき ひろかず	磐田南高校(定時制)	A	(1)
12	松尾 真里	まつお まり	磐田市立東部幼稚園	C	(3)
13	清水 みゆき	しみず みゆき	在留外国人(ブラジル)	B	(2)
14	勝又 千夏	かつまた ちなつ	学校教育課	Bファシリテーター	テーマ2(固定)
15	杉田 友司	すぎた ともし	多文化交流センター	A	(1)
16	山田 裕美	やまだ ゆみ	多文化交流センター	B	(2)
17	村井 智和	むらい ともかず	地域づくり応援課	Aファシリテーター	テーマ1(固定)
18	坪井 信	つばい しん	地域づくり応援課	A書記	テーマ1(固定)
19	藤田 昌弘	ふじた まさひろ	地域づくり応援課	C書記	テーマ3(固定)
20	鈴木 将祐	すずき まさひろ	地域づくり応援課	B書記	テーマ2(固定)
21	森 優也	もり ゆうや	地域づくり応援課	Cファシリテーター	テーマ3(固定)
会長	池上 重弘	いけがみ しげひろ	静岡文化芸術大学	全体総括	全体総括

# ワークショップ配置図

参考資料 - 3



現状

課題

解決方法

自由意見